

2020年度までに非小細胞肺癌の治療を受けた患者さんへ 【過去の治療に関するカルテデータの臨床研究への使用許可のお願い】

メディポリス国際陽子線治療センターでは「I期非小細胞肺癌に対する陽子線誘発性肋骨骨折の要因分析」という臨床研究を行っております。この研究は、陽子線によって誘発された肋骨骨折の要因を分析し、今後のより良い治療計画シミュレーションの立案に役立てることを目的としています。そのため、治療計画情報や検査画像を含む、患者さんのカルテデータを使用させていただきます。

○ 研究期間

倫理委員会承認後～2025年3月31日まで

○ 研究機関および施設長

メディポリス国際陽子線治療センター センター長 萩野 尚

○ 研究責任者

医学物理科 近藤 尚明

○ 臨床研究対象者

下記期間中に陽子線治療を受けた非小細胞肺癌の患者さんです。

2011年1月11日～2021年3月31日まで

○ 利用する情報

患者さんのカルテデータ、治療計画情報、検査画像

○ 個人情報の取扱い

使用するデータは、個人が特定されないよう匿名化を行い、個人情報に関しては厳重に管理します。臨床研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはありません、個人情報は守られます。

もし、今回のデータ使用について同意をいただけない場合には、いつでも構いませんので、お手数ですが下記の問い合わせ先まで連絡ください。また、同意の有無が今後の治療などに影響することはございません。

【問い合わせ先】

メディポリス国際陽子線治療センター

TEL：0993-23-5188(代) FAX：0993-24-3450(代)

この臨床研究は、今後の医療の発展に資するものですので、ご理解ご協力の程、何卒、よろしくお願ひいたします。

